

DK-PN02 設定スイッチマニュアル

アルインコ株式会社
電子事業部

はじめに…

この度はアルインコ特定小電力ワイヤレスコール DK-PN02 をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
設定スイッチマニュアルは本製品の設定スイッチをご使用していただくための内容を記載しています。
ご使用前に本製品付属の取扱説明書と合わせて、必ずお読みください。

本資料の使用に関して……

本資料の内容は予告なく変更することがあります。
本資料の転載・複製に関しましては、当社の許諾が必要です。
当社は本資料に記載されている情報等の使用に関して、当社もしくは第三者が所有する知的財産権その他の権利に対する保証、実施、使用を許諾するものではありません。
本資料に記載されている情報等の使用に起因する損害、第三者所有の権利に対する侵害に関し、当社は一切その責任を負いません。

商標等について………

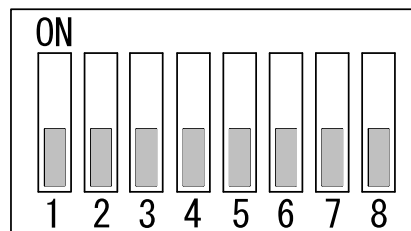
アルインコの社名とロゴは国内外で商標として登録されています。
Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
その他、記載の商品名、会社名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

目次

1. 設定スイッチの割り当てについて.....	3
2. No.1 通信タイプ.....	3
3. No.2 音声タイプ.....	3
4. No.3 録音モード.....	4
5. No.4 VOX(音声検知送信).....	5
6. No.5 温度センサ.....	6
7. No.6 振動センサ.....	7
8. No.7 浸水センサ.....	8
9. No.8 トランシーバーモード.....	9

1. 設定スイッチの割り当てについて

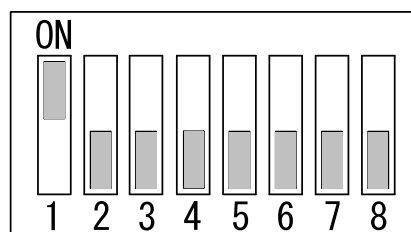
本製品背面の電池カバーを取り外し、内部のスイッチを操作して各機能を設定します。
出荷状態ではすべてのスイッチは数字側に設定されています。イラスト状態は OFF です。
スイッチの操作はペン先などの先端が鋭利ではないものをご使用ください。



No.	項目	設定値	初期値
1	通信タイプ	交互通話 / 中継通話	交互通 (OFF)
2	音声タイプ	定型文 / 録音	定型文 (OFF)
3	録音モード	ON / OFF	OFF
4	VOX (音声検知送信)	ON / OFF	OFF
5	温度センサ	ON / OFF	OFF
6	振動センサ	ON / OFF	OFF
7	浸水センサ	ON / OFF	OFF
8	トランシーバーモード	ON / OFF	OFF

2. No.1 通信タイプ

交互通話 (L01～L09, b01～b11)・中継通話 (L10～L18, b12～b29) を切り替えます。
中継子機として中継器にアクセスしたい場合は、イラスト通り No.1 を ON にします。

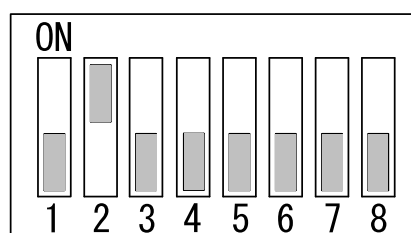


【メモ】 交互通話に設定しているときは、セットモードのチャンネル内容は L01～L09, b01～b11 から選択となります。中継通話に設定しているときは、L10～L18, b12～b29 から選択できます。

【注意】 ACSH モードで自動設定されている場合は、誤操作を防ぐため設定スイッチでのチャンネル・グループ設定ができなくなります。再度設定スイッチで変更する際は、リセットしてください。その際 ACSH モードで自動設定した内容は消去されますのでご注意ください。

3. No.2 音声タイプ

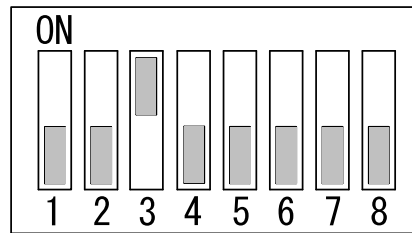
呼出キー操作での呼び出し音声を録音音声に設定する場合は、イラスト通り No.2 を ON にします。



【メモ】 録音されていない場合は「録音されていません」と呼び出し音声が鳴ります。

4. No.3 録音モード

音声を録音し、呼び出し音声として使用できます。録音する際はイラスト通りNo.3をONにします。



- ① 待機状態でNo.3をONにします。
- ② 接点端子にイヤホン(オプション:EME-58)を接続します。
- ③ 呼出キーを押し続け「ピピッ」と鳴ったら図1の通り垂直にマイクに向かって近づけて大きな声で話します。
その際ランプが緑色点灯し録音が始まります。
- ④ 話し終わったら呼出キーを離します。保存中はランプが緑色点滅します。
- ⑤ 直後に録音した音声自動的に再生・送信し確認することができます。
- ⑥ 再生・送信後は自動的に待機状態となります。
- ⑦ 録音した内容を呼び出し音声に使用するには設定スイッチNo.2をONにNo.3をOFFにしてください。

【メモ】録音に失敗した際は再度③から始めて下さい。録音時間は最長で10秒となります。

【注意】

- ・指定オプション以外や市販のイヤホンを使用すると正しく録音されないためご注意ください。
- ・③の呼出キーを押し続ける時間が短い場合は、自動的に待機状態となります。その際は再度③から始め呼出キーを押し続けてください。

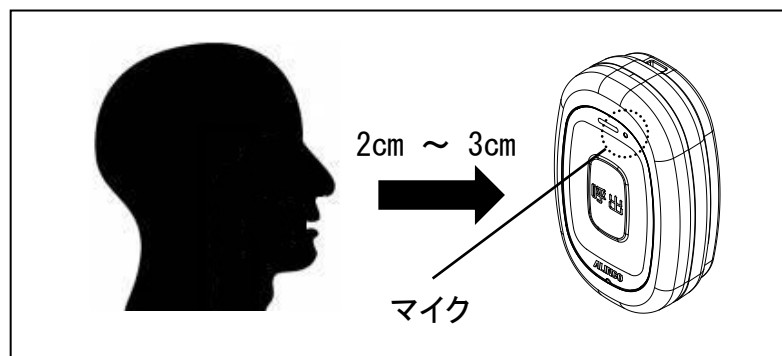
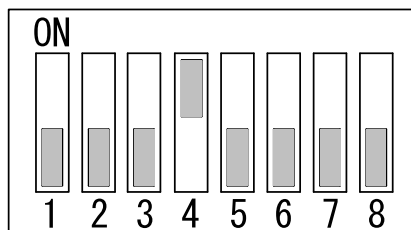


図1 録音方法

5. No.4 VOX(音声検知送信)

音声を検知して音声ガイダンスでお知らせします。設定する際はイラスト通り No.4 を ON にします。



- ① 待機状態で設定スイッチを ON にします。
- ② 呼出キーを押します。(ランプ: 青色点灯)
- ③ ランプが消灯したのちマイクに向かって近づけて話します。音声を検知するとランプが青色点灯します。
- ④ 「プルルップルルッ」「音声を検知しました」とお知らせし、音声が続いていれば送信を保持します。
- ⑤ 送信を保持している間は、マイクからの音声(ご自身の声やアラーム音など)が送信されます。
- ⑥ 音声が無くなれば待ち受け状態(受信)になります。(ランプ: 消灯)

【メモ】 設定スイッチ No.2 「音声タイプ」が録音の場合は、呼び出し音声は録音となります。

無線機管理者がカスタマイズのために使う「設定値書き込み」で VOX 感度や時間設定を変更できます。
詳しくは弊社ホームページをご覧ください。

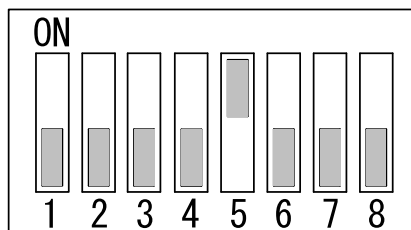
<https://www.alinco.co.jp/> 「電子事業部」>ダウンロード>特定小電力」

【注意】

- ・音声検知待ち中は待ち受け状態(受信)となります。待機状態とは異なり電流を大きく消費するため長時間の使用にはご注意ください。本製品と受信側のトランシーバーの距離が近い場合、ビート音(ハウリング)が発生しますので距離を離してから使用してください。
- ・設定スイッチ No.3 が ON の場合は、録音モードが優先されます。複数の機能(温度・振動・浸水・トランシーバー)を同時に動作させることはできません。
- ・設定スイッチ No.4 が ON の場合は、呼出キーを押しても呼び出し音声は送信されません。
- ・搭載センサの精度は保証していません。業務上万一、損害・故障などが原因で人命が失われることがあっても、製造および販売もとはその責任を負うものではありません。

6. No.5 温度センサ

温度を検知して音声ガイダンスでお知らせします。設定する際はイラスト通り No.5 を ON にします。



- ① 待機状態で設定スイッチを ON にします。
- ② 呼出キーを押します。(ランプ: 青色点灯)
- ③ ランプが消灯したのち温度を検知するとランプが青色点灯します。
- ④ 「プルルップルルッ」「周囲温度が高くなりました」とお知らせします。
- ⑤ その後待ち受け状態(受信)になります。(ランプ: 消灯)

【メモ】 設定スイッチ No.2 「音声タイプ」が録音の場合は、呼び出し音声は録音となります。

無線機管理者がカスタマイズのために使う「設定値書き込み」で温度設定値や時間設定を変更できます。
詳しくは弊社ホームページをご覧ください。

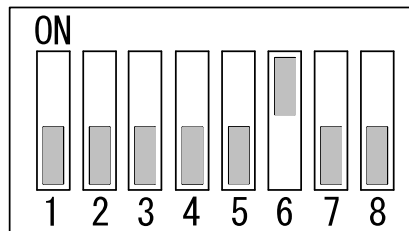
<https://www.alinco.co.jp/> 「電子事業部>ダウンロード>特定小電力」

【注意】

- ・温度検知待ち中は待ち受け状態(受信)となります。待機状態とは異なり電流を大きく消費するため長時間の使用にはご注意ください。
- ・設定スイッチ No.3 が ON の場合は、録音モードが優先されます。加えて複数の機能(VOX・振動・浸水・トランシーバー)を同時に動作させることはできません。
- ・設定スイッチ No.5 が ON の場合は、呼出キーを押しても呼び出し音声を送信されません。
- ・搭載センサの精度は保証していません。業務上万一、損害・故障などが原因で人命が失われることがあっても、製造および販売もとはその責任を負うものではありません。

7. No.6 振動センサ

振動を検知して音声ガイダンスでお知らせします。設定する際はイラスト通り No.6 を ON にします。



- ① 待機状態で設定スイッチを ON にします。
- ② 呼出キーを押します。(ランプ: 青色点灯)
- ③ ランプが消灯したのち振動を検知するとランプが青色点灯します。
- ④ 「プルルップルルツ」「振動を検知しました」とお知らせします。
- ⑤ その後待機状態になります。(ランプ: 消灯)

【メモ】 設定スイッチ No.2 「音声タイプ」が録音の場合は、呼び出し音声は録音となります。

無線機管理者がカスタマイズのために使う「設定値書き込み」で振動の感度を変更できます。
詳しくは弊社ホームページをご覧ください。

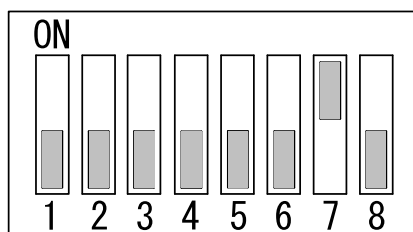
<https://www.alinco.co.jp/> 「電子事業部>ダウンロード>特定小電力」

【注意】

- ・本製品に強い衝撃を与えたり、高所から落下させたりしないでください。ケースの破損や故障の原因となります。
- ・設定スイッチ No.3 が ON の場合は、録音モードが優先されます。加えて複数の機能(VOX・温度・浸水・トランシーバー)を同時に動作させることはできません。
- ・搭載センサの精度は保証していません。業務上万一、損害・故障などが原因で人命が失われることがあっても、製造および販売もとはその責任を負うものではありません。

8. No.7 浸水センサ

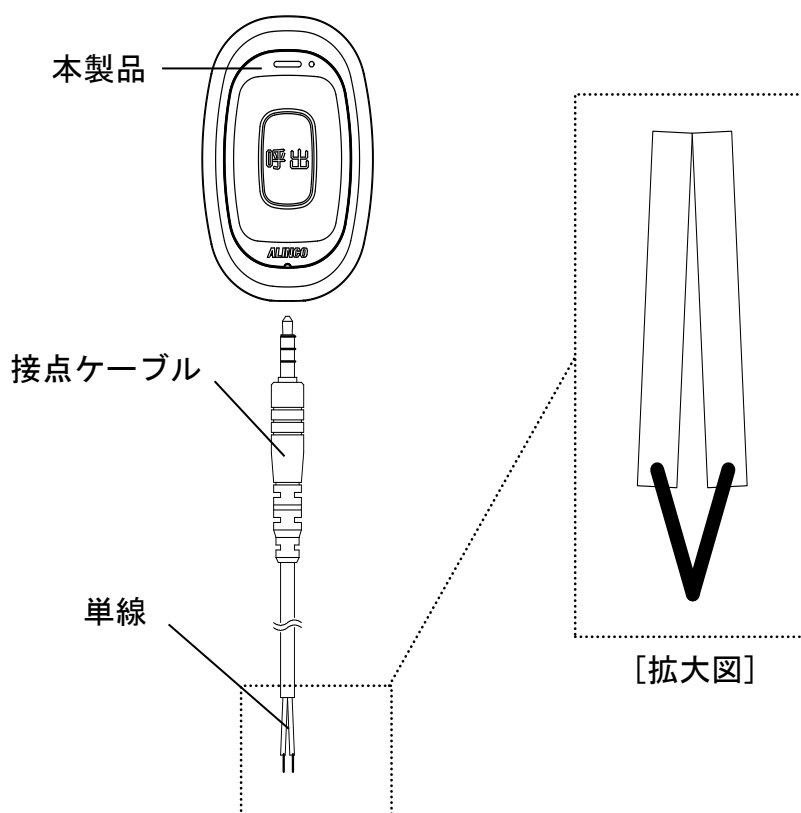
浸水や接点スイッチを検知して音声ガイドンスでお知らせします。設定する際はイラスト通り No.7 を ON にします。



- ① 待機状態で設定スイッチを ON にします。
- ② 別売りオプション品である接点ケーブル(EDS-33)を本製品の接点端子に接続します。
- ③ 呼出キーを押します。(ランプ:青色点灯)
- ④ ランプが消灯したのち浸水や接点スイッチを検知するとランプが青色点灯します。

[検知例]

・接点ケーブルの先端が単線に分かれているので、それをお互いに接触させると検知します。



- ⑤ 「プルルプルルツ」「浸水を検知しました」とお知らせします。
- ⑥ 接点が接触しているままだと再度お知らせし、接触していないと待機状態になります。(ランプ:消灯)

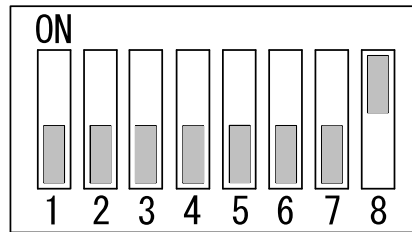
【メモ】 設定スイッチ No.2 「音声タイプ」が録音の場合は、呼び出し音声は録音となります。

[注意]

- ・オプション品以外の使用については、いかなる誤動作・不具合が生じて、弊社は一切その責任を負いかねますのでご了承ください。本製品は防水構造ではないため水が入ったり故意に濡れたりしないようご注意ください。
- ・設定スイッチ No.3 が ON の場合は、録音モードが優先されます。加えて複数の機能(VOX・温度・振動・トランシーバー)を同時に動作させることはできません。
- ・設定スイッチ No.7 が ON の場合は、呼出キーを押しても呼び出し音声を送信されません。
- ・搭載センサの精度は保証していません。業務上万一、損害・故障などが原因で人命が失われることがあっても、製造および販売もとはその責任を負うものではありません。

9. No.8 トランシーバーモード

簡易的に特定小電力トランシーバーとして使用できます。設定する際はイラスト通りNo.8をONにします。



- ① 待機状態で設定スイッチをONにします。
- ② 接点端子にイヤホン(オプション:EME-58)を接続します。
- ③ 呼出キーを押します。
- ④ 「ピピッ」音とともにランプが青色点灯します。
- ⑤ 呼出キーを押すと送信し、ランプが赤色点灯します。(マイクに近づけて話してください)
- ⑥ 呼出キーを離すと受信待ち受けし、ランプが青色点灯します。(受信時:ランプ緑色点灯)

【メモ】

- ・無線機管理者がカスタマイズのために使う「設定値書き込み」で各設定を変更できます。詳しくは弊社ホームページをご覧ください。<https://www.alinco.co.jp/>「電子事業部」ダウンロード>特定小電力」
- ・トランシーバーモード中にFキーを押すと受信音量を15段階変更できます。
- ・トランシーバーモードをOFFする場合は、設定スイッチNo.8をOFFにしてください。
- ・電池の電圧が低下するとランプが青色点滅してお知らせします。さらに電圧が低下すると点滅周期が速くなるとともに、「電池を交換してください」が定期的にイヤホンから鳴りお知らせし、自動的にスリープモードに入ります。その際は新しい電池に交換してください。

【注意】

- ・指定以外や市販のイヤホンを使用すると正しく送信できないためご注意ください。
- ・音声タイプを「定型文」に設定してお使いください。また待ち受け状態(受信)は待機状態とは異なり電流を大きく消費するため長時間の利用にはご注意ください。
- ・トランシーバーモード中はセットモードやACSHモードが使用できません。一度トランシーバーモードをOFFまたは再起動(電池を取り外して再度電池を取り付ける)してお試しください。
- ・受信待ち受け中にランプが点滅することがありますが、減電池表示のため異常動作ではありません。